

こころの健康センター 所 報

平成23年度(実績)



はじめに

新潟市こころの健康センターの平成23年度の所報をお届けいたします。関係者の皆様におかれましては、当センターにおける事業の概要をご覧いただき、忌憚のないご意見をお寄せ下さるようお願い申し上げます。

平成19年度に当センターが開設してから、これが5冊目の所報となります。5冊の所報を出す間に、世の中は大きく変わりました。何よりも大きな変化は、東日本大震災の発生と、その影響による社会の変化でしょう。死者・行方不明者あわせて1万8千人以上に及ぶ大災害は、被災された方ばかりでなく、全国民の心にも大きな影響を与えました。

厚生労働省では、この震災の経験をふまえて、DMAT（災害派遣医療チーム）にならって、DPAT（災害派遣精神医療チーム）を作る構想を固めたようです。また、日本精神神経学会においても、大規模災害に対応するための常設委員会作りに向けて検討を始めています。災害に備える体制は、精神保健医療分野においても、この1、2年のうちに大きく進むと思われます。

新潟市でも、これに応じて災害時のマニュアルを更新していかなければなりません。災害の時に人間の心がどう動くのか、どのような問題が発生するのかということについては、これまでの災害の経験から知識が集積されてきています。心のケアチームをはじめとして、外部からの人的、物的な支援も速やかに確保されるようになってきました。災害が起こった時に、住民の心の健康を守るために何を行うべきか、そのために必要な人員や物資をどうやって確保するのか、最新の内容をマニュアルに書き込むことが求められます。

しかしそれだけでは不十分です。マニュアルには、行うべき活動を記載することはできても、どうやって活動すればよいのかまで書き込むことはできないからです。災害が起こったときに、自分の頭で考えながら、自立した地域精神保健医療活動を行うことのできる人材を育てる必要があります。また、災害時には関係機関の密接な連携がとても重要となりますが、マニュアルに描いただけの連携では、いざというときに機能しません。平時の業務において、お互いの信頼感を醸成しておく必要があります。

人材育成と連携、結局は普段から行っていることが、災害対応においても生きてくるのだと思います。当センターとしては、災害時マニュアルの更新作業を行いながら、それを活用するための人づくりと、連携体制づくりに励んでいきたいと思っております。

これからも、関係者の皆様の変わらぬ御理解と御教示、そして御支援を賜りますよう、よろしくようお願い申し上げます。

平成25年3月1日

新潟市こころの健康センター

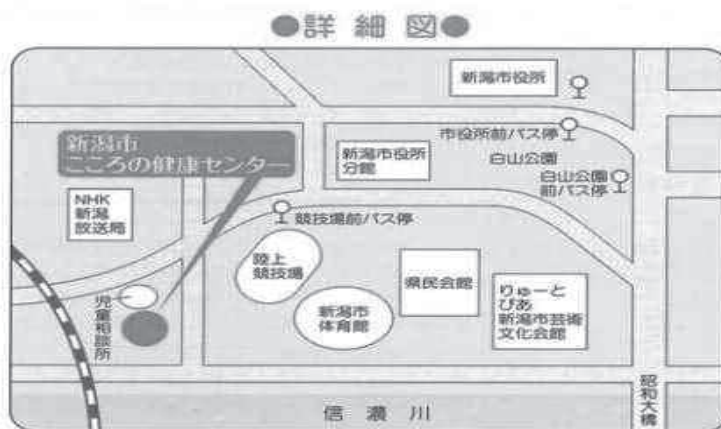
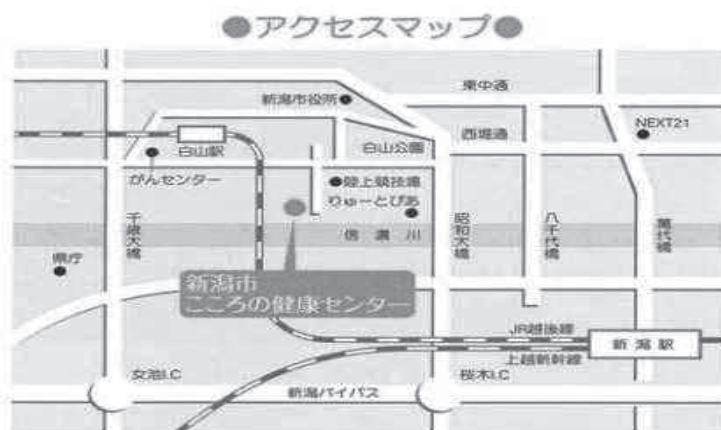
所長 福 島 昇

目 次

1	施設概要	1
2	職員体制	4
3	23年度歳入歳出決算状況	5
4	23年度事業実績	
4-1	スタッフ部門（精神保健福祉センター機能）事業実績	
	（1）精神保健福祉相談	7
	（2）教育研修	18
	（3）普及啓発	20
	（4）技術指導及び支援	22
	（5）審査判定	23
	（6）会議運営	25
4-2	精神保健福祉室事業実績	
	（1）精神保健福祉審議会	27
	（2）精神保健指定医会議／精神科病院事務長・看護部長会議	27
	（3）精神科救急医療対策	28
	（4）措置入院・措置診察業務	30
	（5）精神障がい者地域移行・地域定着支援	31
	（6）精神障がい者社会適応訓練	31
4-3	いのちの支援室事業実績	
	（1）計画策定	33
	（2）実態把握	33
	（3）人材育成	34
	（4）相談支援	36
	（5）事業推進体制	37
	（6）普及啓発	39

1 施設概要

- (1) 名称 新潟市こころの健康センター
- (2) 所在地 〒951-8133 新潟市中央区川岸町1丁目57番地1
電話 025-232-5560 (相談専用)
025-232-5551 (事務連絡専用)
FAX 025-232-5568
- (3) 沿革 平成19年4月1日 政令指定都市移行に伴い開設。
平成23年4月1日 組織改編に伴い、福祉部障がい福祉課より精神保健福祉室が移管、いのちの支援室を新設。
- (4) 案内図



【交通のご案内】

- バスをご利用の方…「市役所前」・「白山公園前」下車徒歩15分
「競技場前」下車徒歩5分
- 電車をご利用の方…「JR白山駅」から徒歩10分

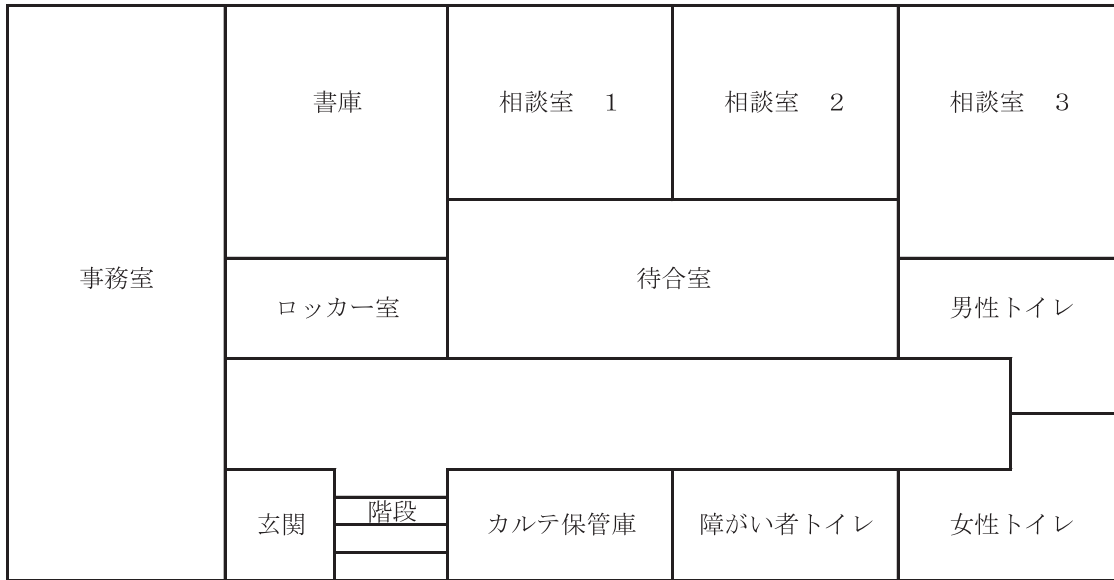
(5) 施設面積等

敷地面積	375.34㎡	
延べ床面積	423.78㎡	(庁舎417.66㎡) (駐輪場6.12㎡)
駐車場	25台	(児童相談所と共用)
構造	鉄筋コンクリート造2階建	

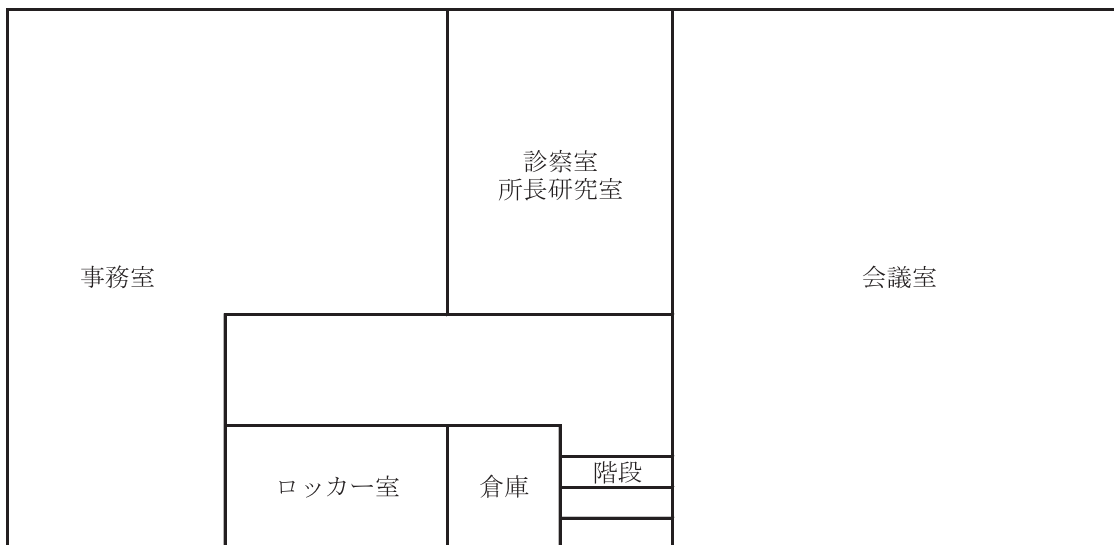
個別床面積 (㎡)		部 屋		
		番号	名 称	床面積 (㎡)
1 階	134.73	1	風 除 室	4.72
		2	事 務 室	61.52
		3	書 庫	10.53
		4	ロ ッ カ ー 室	3.71
		5	相 談 室 1	9.85
		6	相 談 室 2	8.16
		7	相 談 室 3	14.40
		8	待 合 室	14.14
		9	カ ル テ 保 管 庫	7.70
2 階	197.98	9	事 務 室	95.25
		10	会 議 室	72.83
		11	診 察 室 ・ 所 長 研 究 室	17.45
		12	ロ ッ カ ー 室	8.32
		13	倉 庫	4.13
合 計				332.71

(6) 施設平面図

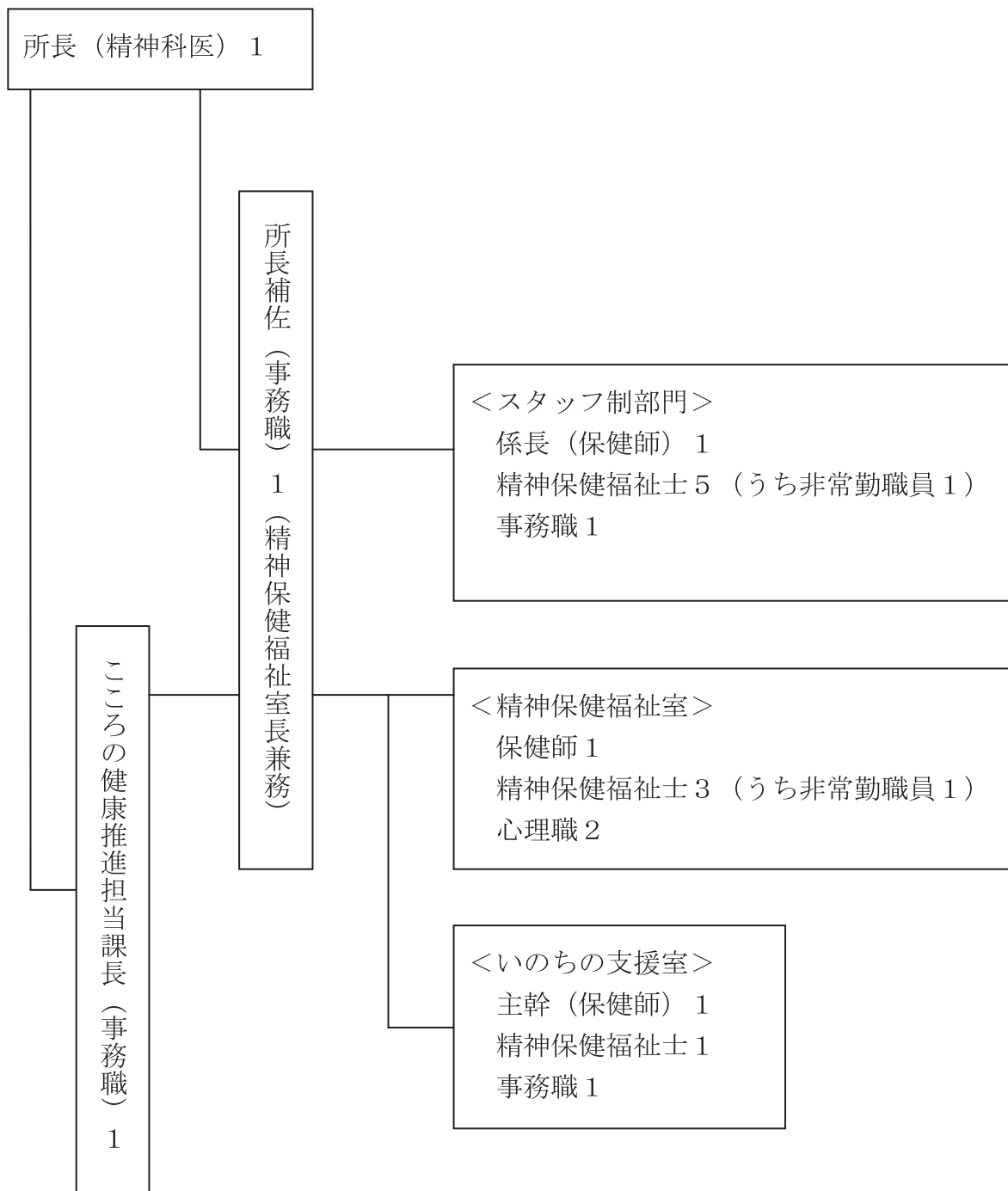
【1階】



【2階】



2 職員体制



3 23年度 歳入歳出決算状況

(1) 歳 入

(単位：円)

科 目	決 算 額	備 考
使用料及び手数料 (行政財産目的外使用料)	7,565	清涼飲料水自動販売機設置に伴う使用料
国庫支出金 (衛生費国庫負担金)	9,139,182	措置入院費等負担金 (車両リース代ほか)
(民生費国庫補助金)	2,832,000	ひきこもり対策推進事業費補助金
(衛生費国庫補助金)	11,392,535	精神科救急医療体制整備事業費補助金ほか
県支出金 (衛生費県補助金)	4,119,000	地域自殺対策緊急強化事業費補助金
諸収入 (衛生費雑入)	778,255	自動販売機電気料・精神科救急医療システム負担金精算
合 計	28,268,537	

(2) 歳 出

科 目	決 算 額	備 考
報 酬	2,969,400	審査会委員, 手帳等判定医等の報酬
賃 金	429,500	デイケア等に係る賃金
報 償 費	1,449,380	研修会講師, 委員等謝礼
旅 費	1,309,214	職員旅費, 手帳等判定医費用弁償, 講師招聘旅費
需 用 費	5,173,171	事務用消耗品費, 印刷製本費, 光熱水費等
役 務 費	6,218,193	郵便料, 電話料, 電話設備回線変更工事, 文書料等
委 託 料	44,049,876	清掃, 警備 (機械), 自動ドア点検等
使用料及び賃借料	1,724,852	車両リース代, 会場使用料等
工事請負費	3,987,900	「新潟市ひきこもり相談支援センター」開設工事経費
備品購入費	782,250	「新潟市ひきこもり相談支援センター」設置備品ほか
負担金補助及び交付金	8,758,000	補助金・加入団体等負担金等
扶 助 費	12,707,270	措置入院に係る医療費ほか
償還金・利子及び割引料	1,349,636	平成22年度分国庫負担(補助)金等の確定に伴う返納金
合 計	90,908,642	

4 23年度事業実績

4-1

スタッフ部門

(精神保健福祉センター機能)

事業実績

(1) 精神保健福祉相談

① 相談，訪問実績年次推移

来所相談		開催日	平成22年度			平成23年度		
			実施回数	実人数	延人数	実施回数	実人数	延人数
専門相談	精神科医(所長)による精神保健福祉相談	毎週木曜日	46	61	76	48	54	66
	精神科医による高齢者精神保健福祉相談	第2火曜日 第4木曜日	22	22	23	24	11	13
	精神科医による思春期青年期相談	偶数月の 第2木曜日	6	8	10	6	9	10
	酒害相談員による酒害相談	第1・3月曜日	19	19	22	21	12	15
	臨床心理士によるうつストレス相談	毎週土曜日	48	29	30	48	42	50
小計			141	139	161	147	128	154
精神保健福祉相談員による精神保健福祉相談		月～金曜日		232	390		235	390
合計				371	551		363	544

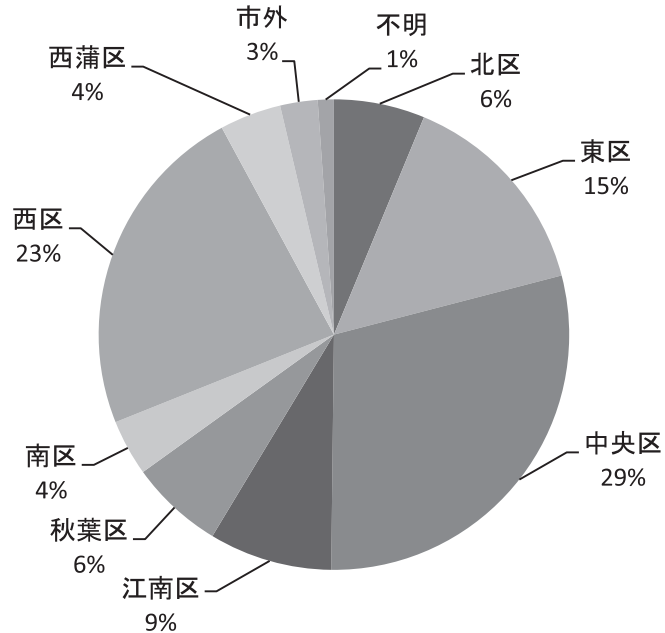
電話相談	開催日	平成22年度			平成23年度		
		実施回数	実人数	延人数	実施回数	実人数	延人数
精神保健福祉相談員による精神保健福祉相談	月～金曜日		1,285	3,517		1,157	3,453

■平成23年度相談(来所+電話)延人数 3,997人

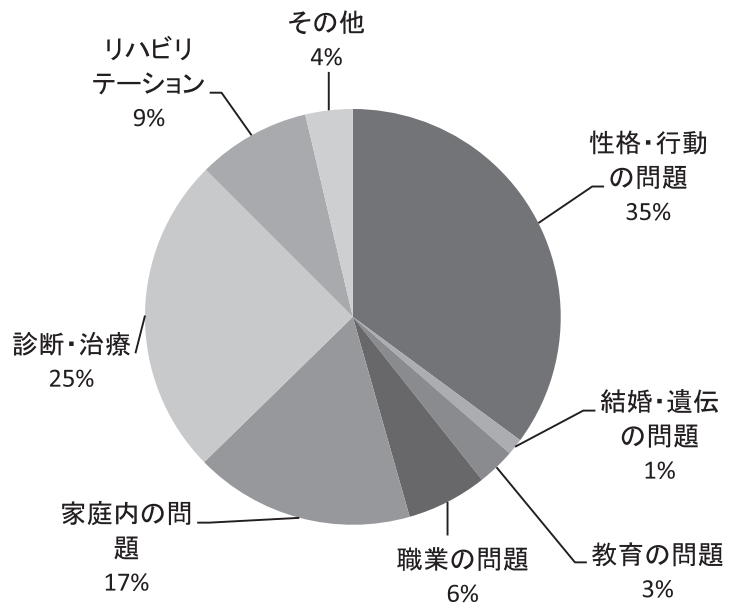
訪問相談	開催日	平成22年度			平成23年度		
		実施回数	実人数	延人数	実施回数	実人数	延人数
精神保健福祉相談員による精神保健福祉相談	月～金曜日		10	26		12	47

② 来所相談

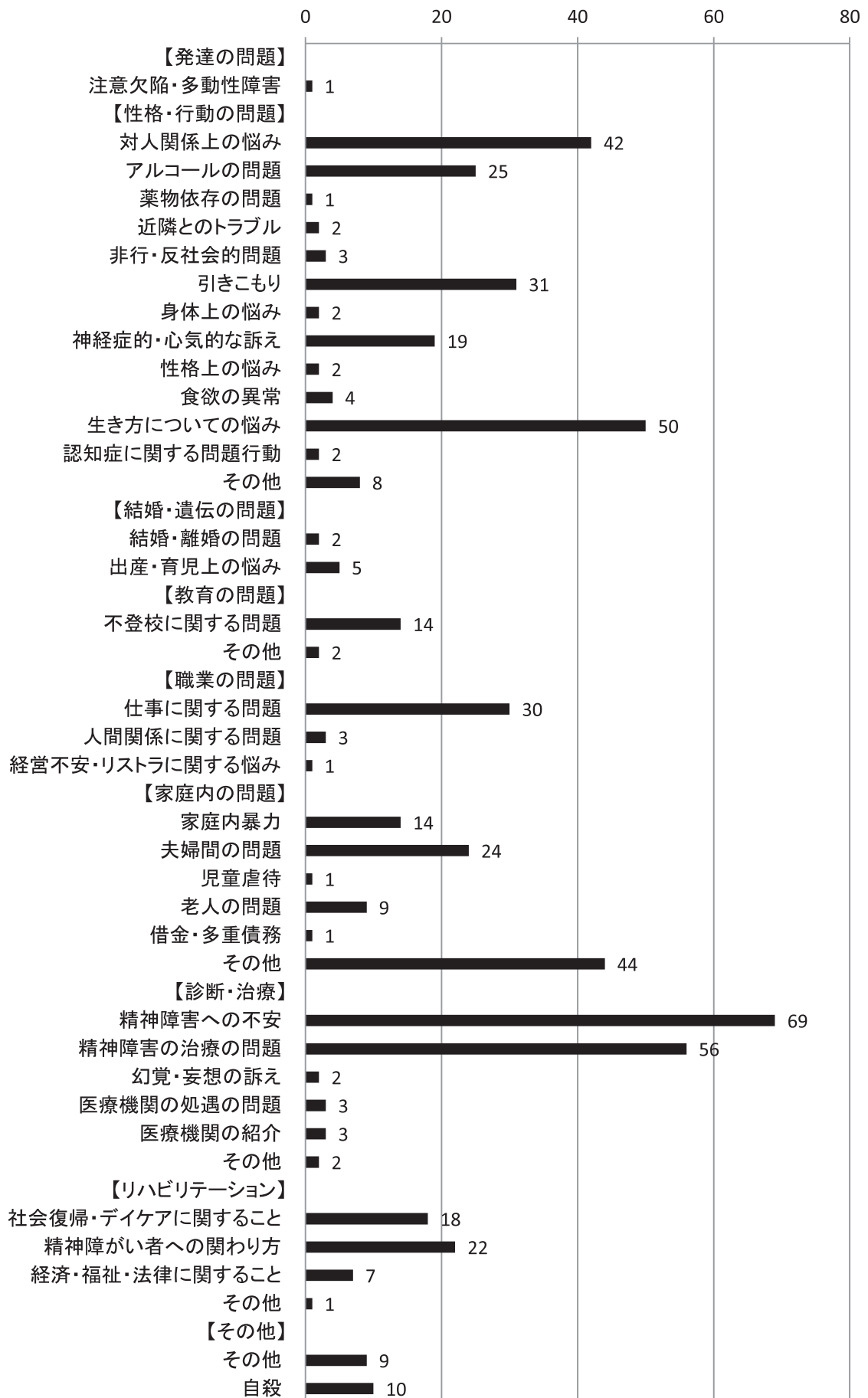
地域別内訳	
区名	延人数
北区	34
東区	80
中央区	159
江南区	46
秋葉区	35
南区	21
西区	126
西蒲区	23
市外	14
不明	6
計	544



主訴内訳	
主訴	延人数
発達の問題	1
性格・行動の問題	191
結婚・遺伝の問題	7
教育の問題	16
職業の問題	34
家庭内の問題	93
診断・治療	135
リハビリテーション	48
その他	19
計	544

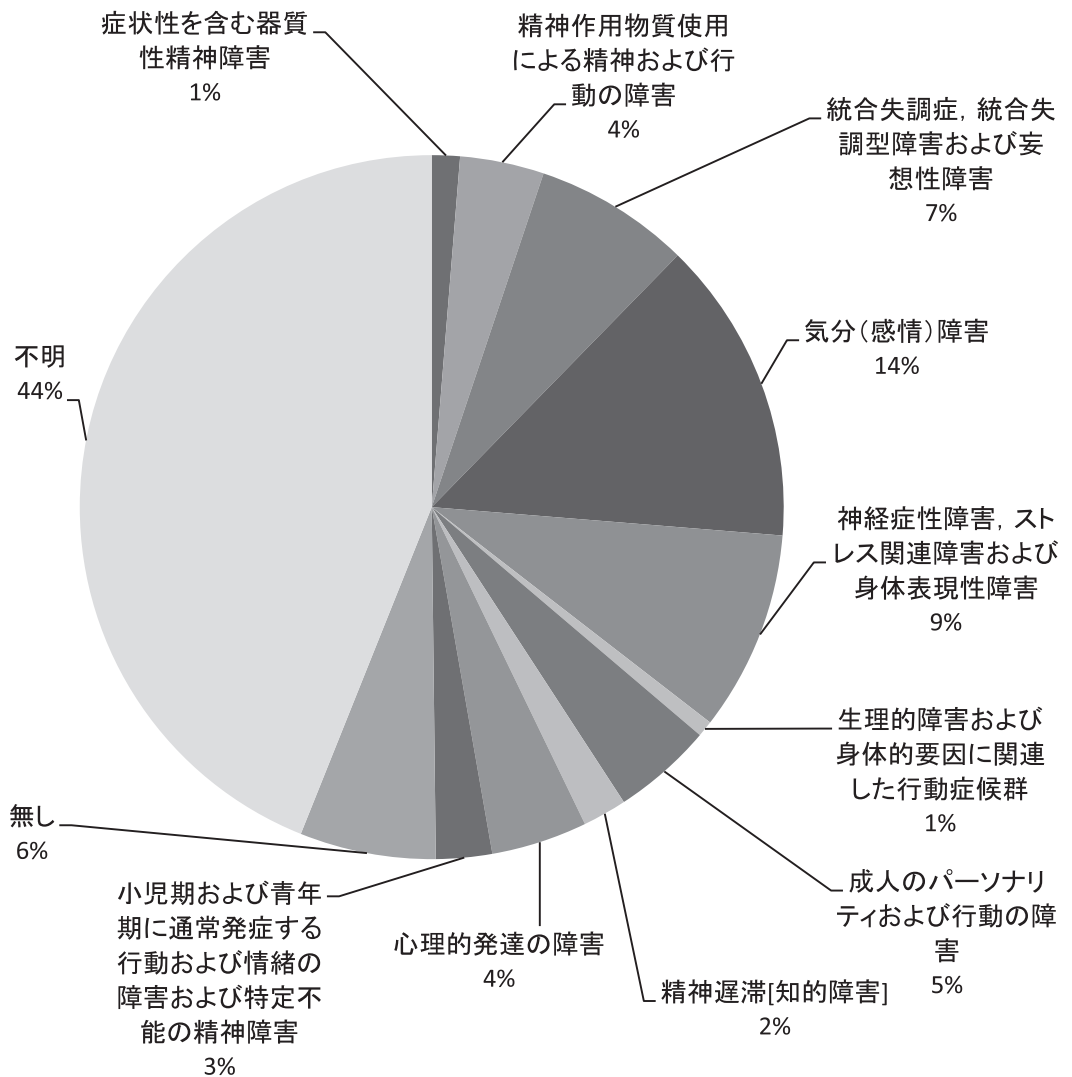


主訴内訳件数

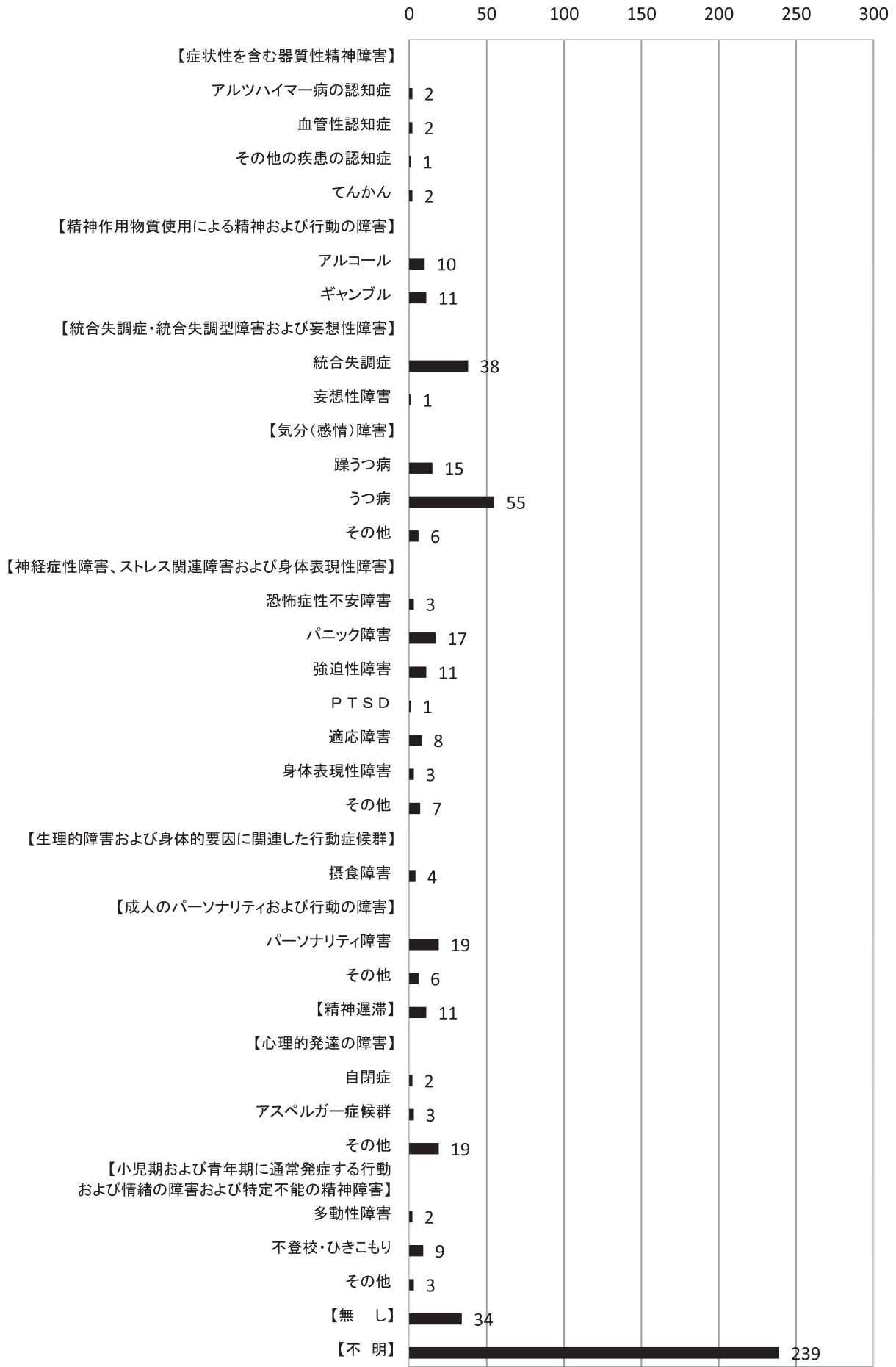


診 断 名 内 訳		
診 断 名	コード	延人数
症状性を含む器質性精神障害	F0	7
精神作用物質使用による精神および行動の障害	F1	21
統合失調症，統合失調型障害および妄想性障害	F2	39
気分（感情）障害	F3	76
神経症性障害，ストレス関連障害および身体表現性障害	F4	50
生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	F5	4
成人のパーソナリティおよび行動の障害	F6	25
精神遅滞[知的障害]	F7	11
心理的発達の障害	F8	24
小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害および特定不能の精神障害	F9	14
無し	無し	34
不明	不明	239
計		544

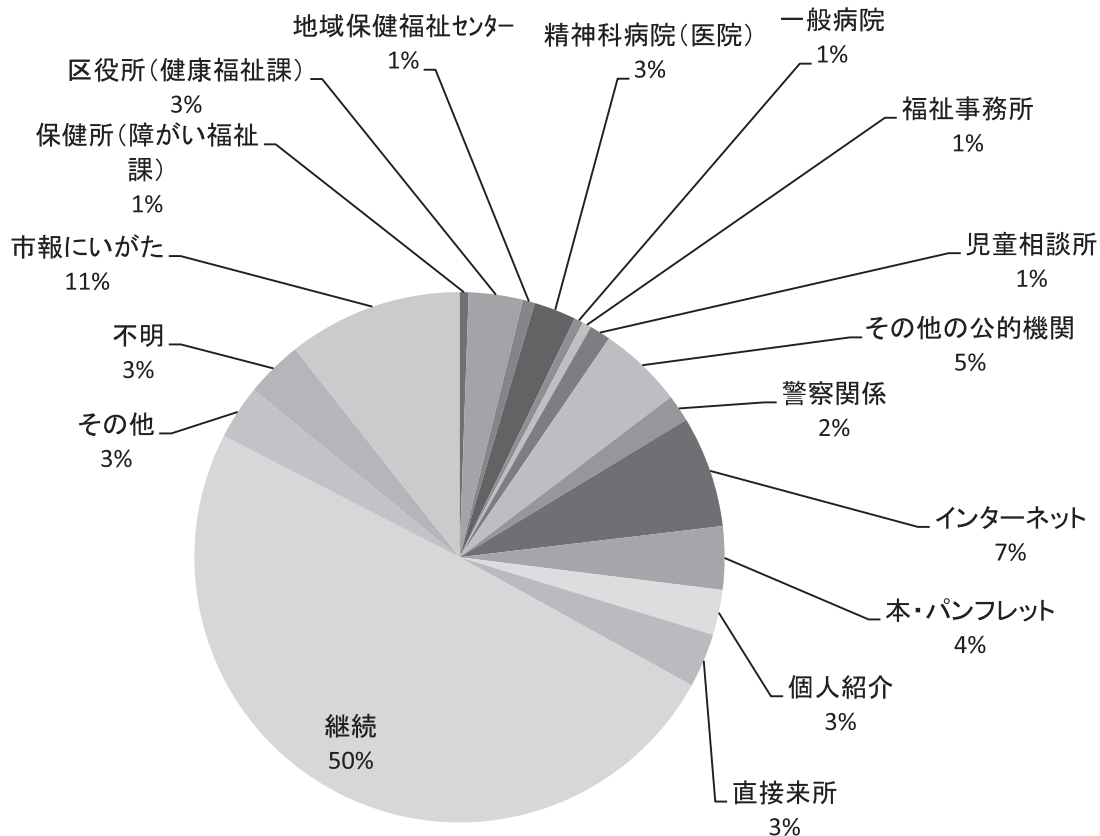
※ I C D - 1 0 に 基 づ く コ ー ド 番 号



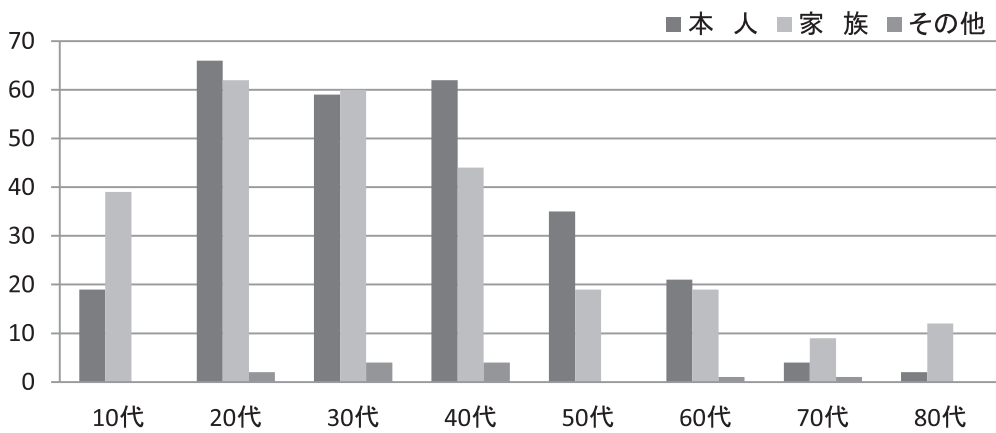
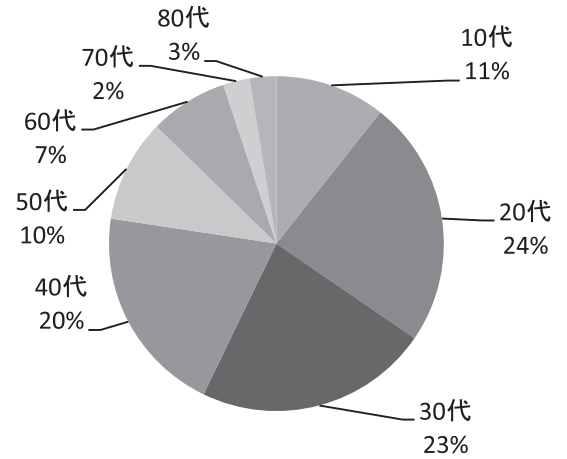
診断名内訳件数



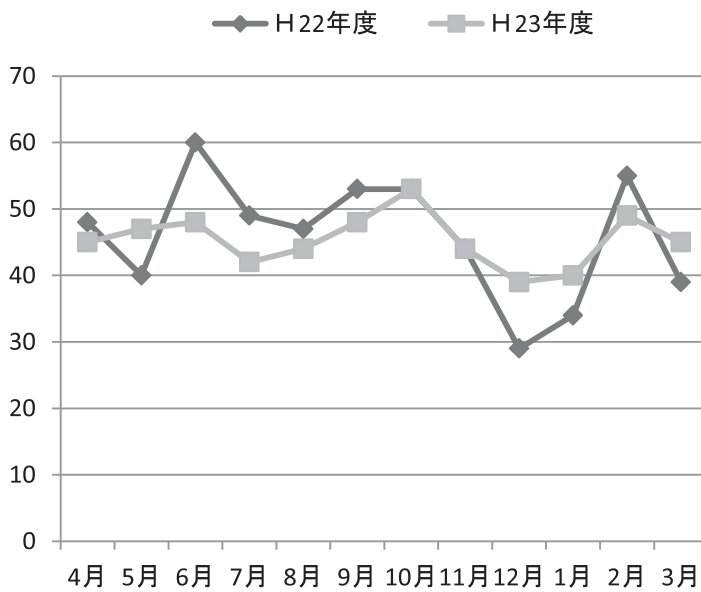
相 談 経 路 内 訳	
機 関	延人数
保健所（障がい福祉課）	3
区役所（健康福祉課）	18
地域保健福祉センター	4
精神科病院（医院）	14
一般病院	3
福祉事務所	3
児童相談所	7
女性福祉相談所	1
施設	2
教育関係	1
TV・ラジオ・新聞（マスコミ）	0
司法関係	1
その他の公的機関	28
警察関係	9
インターネット	37
本・パンフレット	21
いのちの電話	0
個人紹介	15
直接来所	18
精神障害者保健福祉手帳	0
継続	270
その他	12
不明	19
市報にいがた	58
計	544



年代	本人	家族	その他	計
0代	0	0	0	0
10代	19	39	0	58
20代	66	62	2	130
30代	59	60	4	123
40代	62	44	4	110
50代	35	19	0	54
60代	21	19	1	41
70代	4	9	1	14
80代	2	12	0	14
90代	0	0	0	0
合計	268	264	12	544

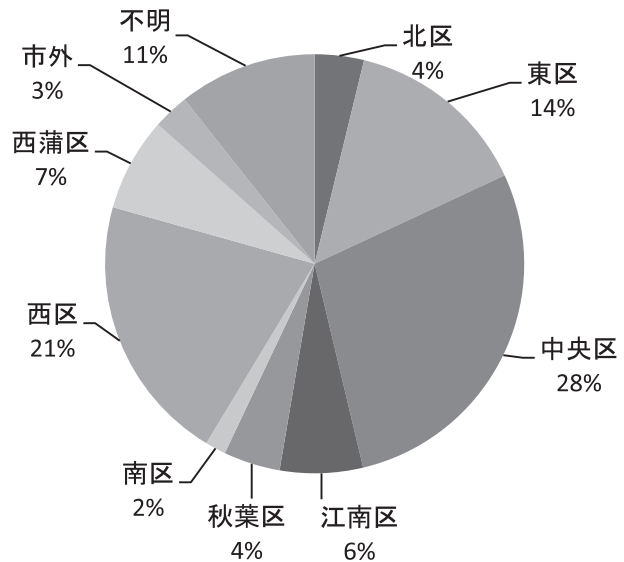


月	延人数	
	H22年度	H23年度
4月	48	45
5月	40	47
6月	60	48
7月	49	42
8月	47	44
9月	53	48
10月	53	53
11月	44	44
12月	29	39
1月	34	40
2月	55	49
3月	39	45
計	551	544

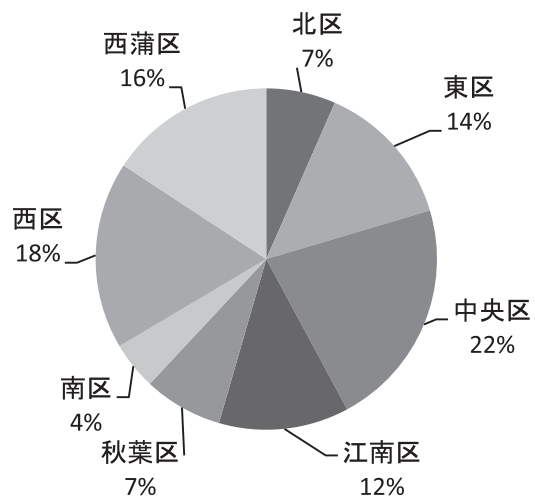


③ 電話相談

区名	延人数
北区	131
東区	493
中央区	974
江南区	221
秋葉区	151
南区	55
西区	715
西蒲区	249
市外	96
不明	368
計	3,453

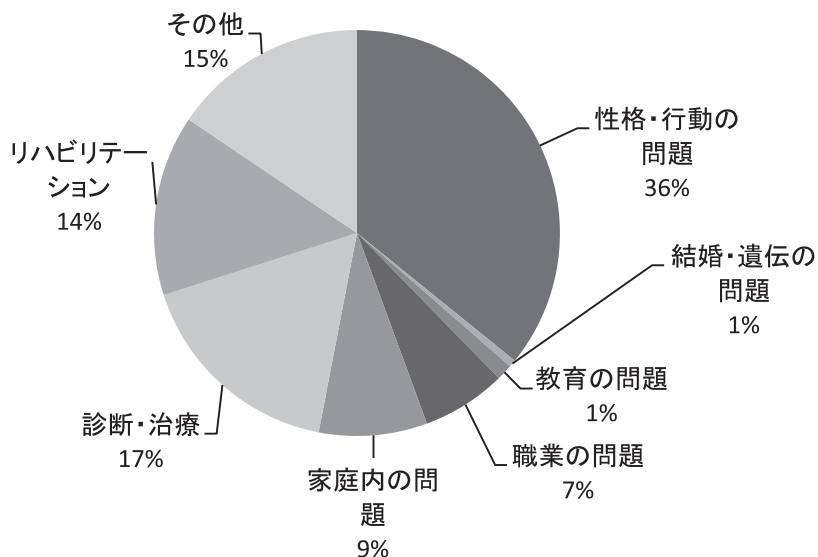


区名	相談件数	人口	人口1万人当たり
北区	131	77,203	16.97
東区	493	138,238	35.66
中央区	974	173,728	56.06
江南区	221	69,499	31.80
秋葉区	151	78,292	19.29
南区	55	47,125	11.67
西区	715	156,055	45.82
西蒲区	249	61,271	40.64
計	2,989	801,411	32.24
市外	96		
不明	368		

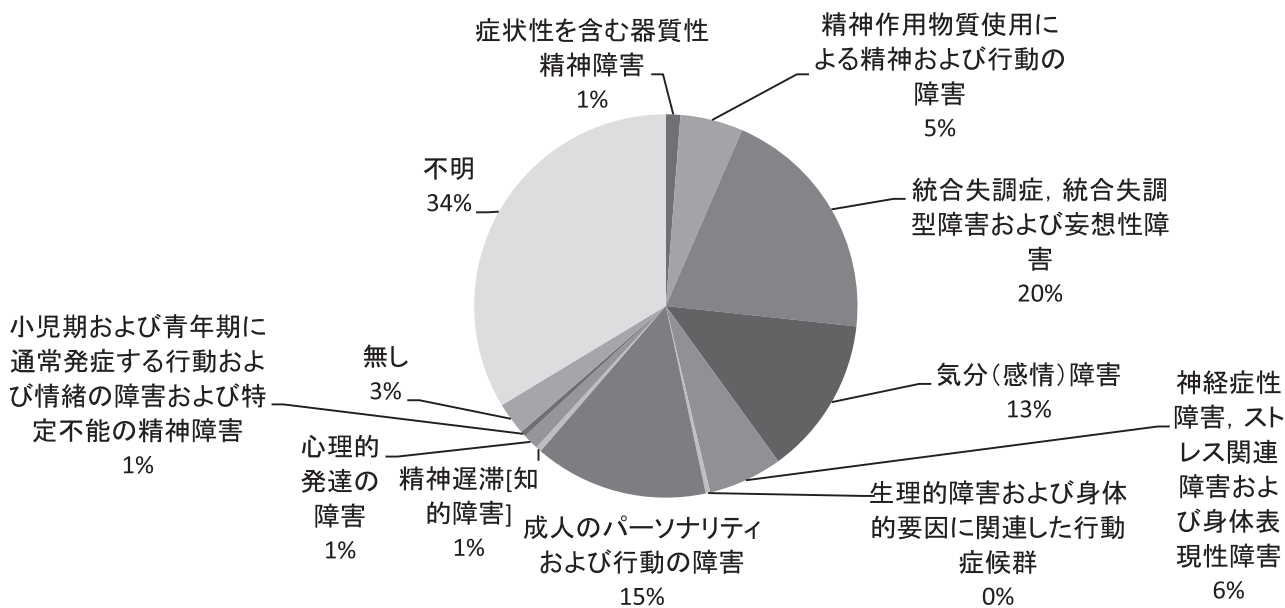


※人口は平成24年3月末現在

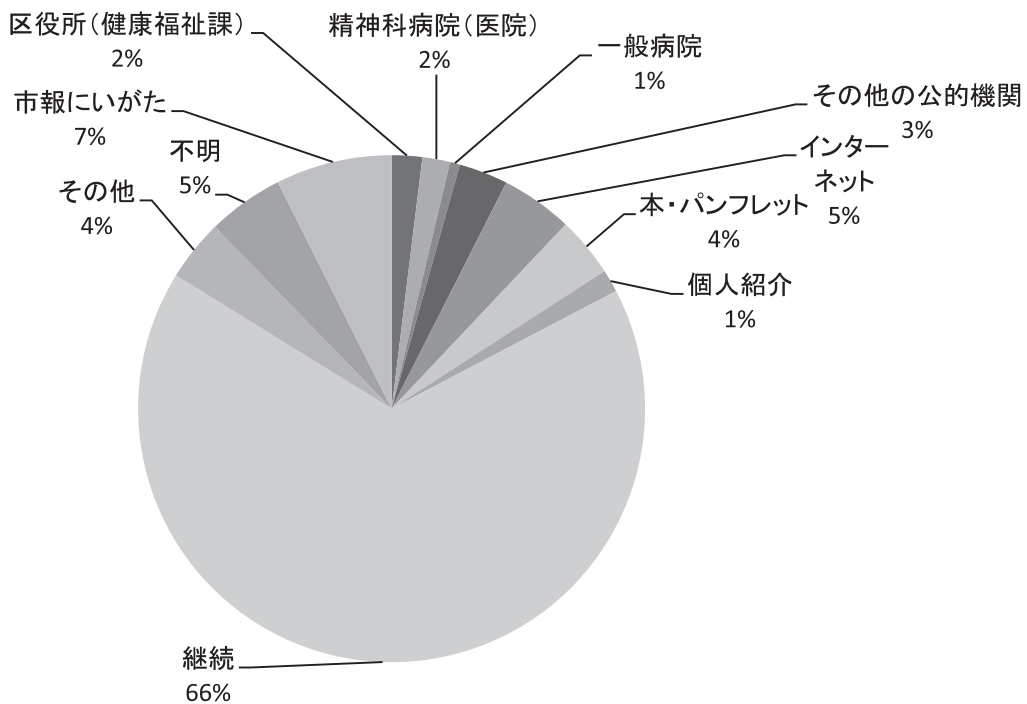
主 訴 内 訳	
主 訴	延人数
発達の問題	1
性格・行動の問題	1237
結婚・遺伝の問題	20
教育の問題	44
職業の問題	232
家庭内の問題	298
診断・治療	588
リハビリテーション	497
その他	536
計	3,453



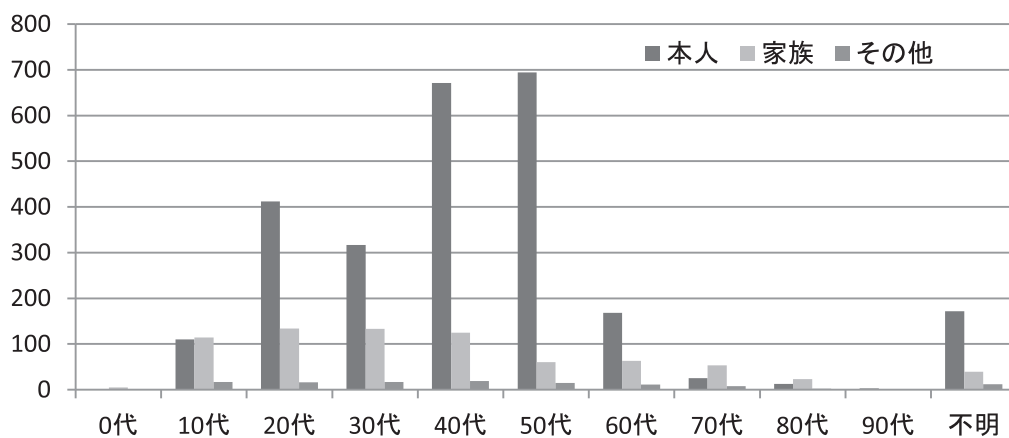
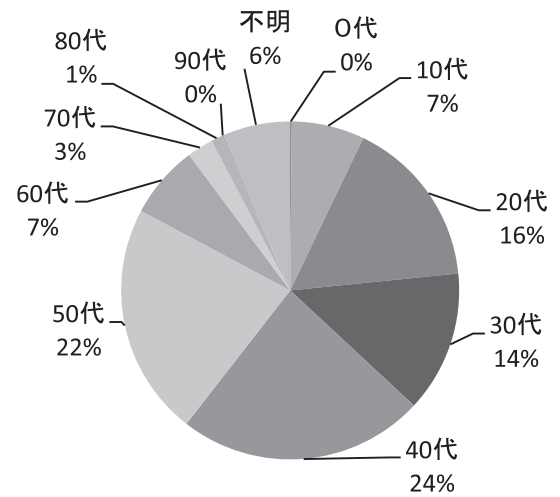
診 断 名 内 訳		
診 断 名	コード	延人数
症状性を含む器質性精神障害	F0	42
精神作用物質使用による精神および行動の障害	F1	183
統合失調症, 統合失調型障害および妄想性障害	F2	697
気分(感情)障害	F3	460
神経症性障害, ストレス関連障害および身体表現性障害	F4	216
生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	F5	13
成人のパーソナリティおよび行動の障害	F6	507
精神遅滞[知的障害]	F7	16
心理的発達の障害	F8	46
小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害および特定不能の精神障害	F9	16
無し	無し	95
不明	不明	1162
計		3,453



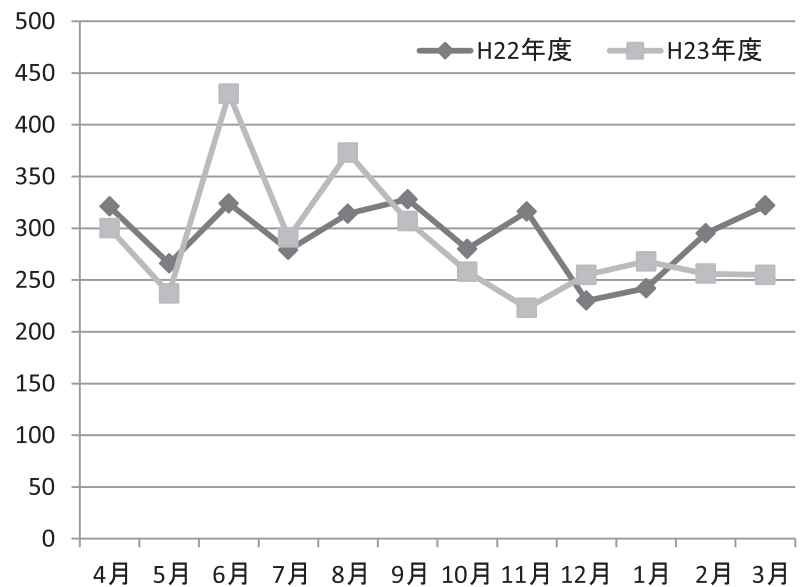
相談経路内訳	
機関	延人数
保健所（障がい福祉課）	10
区役所（健康福祉課）	67
地域保健福祉センター	10
精神科病院（医院）	61
一般病院	22
福祉事務所	1
児童相談所	11
女性福祉相談所	1
施設	6
教育関係	7
TV・ラジオ・新聞(マスコミ)	12
司法関係	1
その他の公的機関	108
警察関係	17
インターネット	158
本・パンフレット	132
いのちの電話	3
個人紹介	50
直接来所	17
精神障害者保健福祉手帳	5
継続	2296
その他	34
不明	168
市報にいがた	256
計	3,453



年代	本人	家族	その他	計
0代	0	5	0	5
10代	110	114	17	241
20代	412	134	16	562
30代	317	133	17	467
40代	671	125	19	815
50代	694	60	15	769
60代	168	63	11	242
70代	25	53	8	86
80代	13	23	2	38
90代	3	1	1	5
不明	172	39	12	223
計	2,585	750	118	3,453



月	延人数	
	H22年度	H23年度
4月	321	300
5月	266	237
6月	324	430
7月	279	291
8月	314	373
9月	328	307
10月	280	258
11月	316	223
12月	230	255
1月	242	268
2月	295	256
3月	322	255
計	3,517	3,453



(2) 教育研修

①精神保健福祉業務新任者研修

第1回 精神保健福祉業務に従事する新任者が専門分野の基礎知識及び技術を習得し、円滑に業務を推進できることを目的に研修会を開催した。

【会場：新潟市役所本館対策室1～3】

日程	内容	対象・参加者
1日目 平成23年 6月6日(月) 午後1時30分 ～午後4時45分	「精神疾患の基礎知識」 こころの健康センター 所長 福島 昇 「精神障がい者の対応の基礎」 こころの健康センター いのちの支援室 主幹 青柳 玲子	【対象】精神保健福祉業務の従事経験が概ね3年未満で精神保健福祉の基礎知識の習得を必要とする職員 ・医療機関職員(医療相談員等) ・障がい福祉サービス事業所職員(指定相談支援事業所, 就労支援事業所, 地域活動支援センター等) ・行政職員
2日目 平成23年 6月7日(火) 午後1時30分 ～午後4時45分	「精神障がい者の支援について」 こころの健康センター 所長補佐/精神保健福祉室長 田中 克久 「セルフコントロールについて」 総務部職員課 健康管理室 臨床心理士 高井 恵	【参加者】延人数(実人数) ・医療機関職員:14人(7人) ・障がい福祉サービス事業所職員:49人(25人) ・行政職員:47人(25人) 合計:110人(57人)

第2回 【午前の部】

精神保健福祉業務に従事する新任者が発達障害の基礎知識及び技術を習得し、円滑に業務を遂行できることを目的に研修会を開催した。

【午後の部】

(1) 自殺は様々な要因が複雑に関係して心理的に追い込まれた末の死であり、全庁をあげて取り組むべきことを理解する。(2) 市職員全員が“自殺のリスクがある人”と接する機会があるという認識を持ち、参加者全員が自殺予防のゲードキーパーであるということを認識する。(3) 「家族や地域・職場の自殺のリスクの高い人」への『気づき』『傾聴』『つなぎ』『見守り』について理解することを目的に研修会を開催した。

※「自殺総合対策事業「庁内推進体制強化事業庁内研修会(実務担当者 基礎編)」を兼ねて実施

【会場：新潟市役所本館対策室1～3】

	内容	対象・参加者
平成23年 12月2日(金) 午前10時 ～午後4時	【午前の部】 「発達障害の基礎知識」 新潟市発達障がい支援センターJOIN 相談員 渡辺 満 氏 【午後の部】 第1部 「本市における自殺対策の取り組み」 こころの健康センター いのちの支援室 副主査 中川 拓也 第2部 「それぞれの職場で自殺予防のためにできること ～気づき・声かけ・つなぎ・見守りの大切さ～」 岩手医科大学神経精神科学講座 講師 大塚 耕太郎 氏	【対象】市民と接する機会が多い職員 ・医療機関職員(医療相談員等) ・福祉サービス事業所職員(指定相談支援事業所, 就労支援事業所, 地域活動支援センター, 地域包括支援センター等) ・学校教職員 ・行政職員 【参加者】実人数 ・医療機関職員:3人 ・福祉サービス事業所職員:40人 ・学校教職員:9人 ・行政職員:52人 合計:104人

②精神保健福祉業務従事者研修

第1回 新潟圏域において高次脳機能障害支援に従事する関係者に対して、高次脳機能障害に関する基本的な知識及び支援手法の普及を図り、関係者の資質向上を図るとともに、新潟圏域における支援ネットワークの構築に資することを目的に研修会を開催した。

※「新潟圏域高次脳機能障害支援従事者研修会」を兼ねて実施

【会場：新潟市役所本館対策室1～3】

日 程	内 容	対 象・参 加 者
平成 23 年 10月14日(金) 午後1時30分 ～午後4時	(1) 行政説明 「新潟県における高次脳機能障害支援普及事業について」 新潟県精神保健福祉センター 主任 昆 珠美 氏 (2) 講義 「高次脳機能障害とは何だろう？」 ～主な症状とその対応～ 新潟市民病院 言語聴覚士 本間 桜 氏 (3) グループワーク 「みんなで支援方法を考えてみよう」 ～それぞれのできること～ 進行：新潟県精神保健福祉センター 主任 昆 珠美 氏 助言：新潟市民病院 言語聴覚士 本間 桜 氏 新潟県高次脳機能障害相談支援センター 相談支援コーディネーター 福島 久美子 氏	【対象】 新潟圏域における高次脳機能障害の支援に携わる保健医療福祉関係職員 ・医療機関職員（医師，看護師，理学療法士，作業療法士，言語聴覚士，医療相談員等） ・福祉サービス事業所職員（指定相談支援事業所，就労支援事業所，地域活動支援センター，地域包括支援センター等） ・行政職員 【参加者】 実人数 ・医療機関職員：5人 ・福祉サービス事業所関係職員：35人 ・行政職員：12人 合計：52人

第2回 精神保健福祉業務に従事する者がアルコール依存症の知識及びアルコール依存症者をもつ家族への支援技術を習得し、円滑に業務を遂行できることを目的に研修会を開催した。

【会場：新潟市役所第2分館404会議室】

日 程	内 容	対 象・参 加 者
平成 24 年 3月2日(金) 午後2時 ～午後4時	「アルコール依存症者をもつ家族への援助の方法」 新潟医療福祉大学 大学院 医療福祉学研究科 （博士後期・修士課程） 社会福祉学部 社会福祉学科 准教授 近藤 あゆみ 氏	【対象】 アルコール依存症者の相談支援に携わる職員 ・指定相談支援事業所職員 ・行政職員（保健師，生活保護担当職員，各区役所健康福祉課職員等） 【参加者】 実人数 ・指定相談支援事業所職員：4人 ・行政職員：21人 合計：25人

(3) 普及啓発

①うつ病の家族教室

うつ病患者の家族に対し、病気について必要な知識の情報提供を行い、対応方法を共に考え、家族自身のもつ力を引き出すことを目的に実施した。

【会場：新潟市こころの健康センター】

	日 時	内 容	対象・参加者
第1回	平成24年1月27日(金) 午後2時～4時	【講義】 「うつという病」 講師 こころの健康センター 所長 福島 昇	【対象】 以下の要件を満たしている方の家族
第2回	平成24年2月10日(金) 午後2時～4時	【グループワーク】 「家族の気持ちを話してみましよう ①」 担当 精神保健福祉相談員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「うつ病」の診断名で現在通院中 ・ 市内在住か市内の会社等に勤務
第3回	平成24年2月24日(金) 午後2時～4時	【グループワーク】 「家族の気持ちを話してみましよう ②」 担当 精神保健福祉相談員	
		【参加者】 延べ 12人	

②新潟市民健康福祉まつりへの参加

日 時	内 容	対象・参加者
平成23年10月16日(日) 午前10時30分～午後3時	【健康ひろばのコーナー】 「アルコール体質判定」 アルコール体質判断テストの実施 パネル展示、パンフレット配布	【対 象】 一般市民 【参加者】 330人

③出前講座

庁内の相談支援職員、庁外の公的機関や企業などの外部機関、また一般市民への技術援助や普及啓発活動を実施した。

内 容	依頼対象・回数・参加人数
依頼テーマ： 「職場におけるメンタルヘルスについて」 「自殺の危険を抱える人に向き合う」 「精神疾患の基礎知識」 「精神障がい者への対応の基礎」 「日常生活自立支援事業の対象者の理解」 「災害時のこころのケア」 「ひきこもりの理解」 等	【依頼機関・対象】 一般市民、一般企業、コミュニティ協議会、介護保険・医療・福祉関係機関、公的機関、小学校（児童・保護者）、区役所等窓口相談担当職員 新潟地方検察庁、新潟県警、他県行政機関 【実施回数】 44回 【参加人数】 2,669人 { スタッフ部門 23回 1,416人 精神保健福祉室 3回 59人 いのちの支援室 18回 1,194人

④ひきこもり アート フォーラム ART FORUM はじめの一步展 プレイベント

ひきこもり当事者の社会参加へのきっかけ作り，人と人のつながり，市民への啓発普及を目的に，ひきこもり経験者やその家族，関係団体や学識者らと協働作業で準備し実施した。

開催日時： 平成23年11月20日(日)	会 場： 新潟市万代市民会館5階
参加者： 延べ 80人	
展 覧 会	ひきこもり経験者や，ひきこもっている人，そのご家族の作品を展示。 出品者数：13人 出品数：16点。
詩の朗読	過去の展覧会で出品された作品の中から，詩を朗読し紹介した。
トークライブ	5人のひきこもり経験者が，今までの苦しかった経験や回復の過程などについて語り合うトークライブ。
パネルディスカッション	ひきこもり経験を持つ展覧会出品者4人がパネラーとなり，アートの専門家である新潟大学教育学部の佐藤哲夫教授をコメンテーターに迎え，作品制作のきっかけや，表現することによって起きた変化などについて語り合った。
ボディパーカッション	身体を楽器に見立て，全身を使って若者たちがリズムを刻むボディパーカッションの実演。
講演会	演題「表現し発表することで何が生まれるか」 講師 新潟大学教育学部芸術環境講座教授 佐藤哲夫氏

⑤新潟県精神保健福祉協会新潟市支部 記念講演会

精神保健福祉に関する知識の普及啓発のため，講演会を開催する。

【会場：新潟市総合福祉会館5階大集会室】

日 時	内 容	対象・参加者
平成23年7月26日(火) 午後2時30分～午後4時	演題「優しさを育てる～絵本を見ながら考える～」 講師 新潟青陵大学大学院 臨床心理学研究科教授 運上司子氏	【対 象】 一般市民 【参加者】 65人

⑥新潟県精神保健福祉協会新潟市支部 市民講座

精神保健福祉の普及啓発事業として，一般市民や当事者・家族・関係者が，ギャンブル依存症の概念や対応・支援について学ぶため，講演会を実施する。

【会場：新潟大学駅南キャンパス ときめいと】

日 時	内 容	対象・参加者
平成23年12月18日(日) 午前10時30分～正午	演題「ギャンブル依存症からの脱却～パチンコ依存症の心理と“最も見込みのある”カウンセリング法」 講師 新潟大学人文社会・教育科学系准教授 神村 栄一氏	【対 象】 一般市民 【参加者】 96人

(4) 技術指導及び援助

関係機関への専門的指導援助を行う

援 助 方 法	内 容 及 び 件 数
・ ケースカンファレンス	・ 老人 8 件
・ 来所面談による技術的援助（助言）	・ 社会復帰 16 件
・ 電話による技術的援助（助言）	・ アルコール 6 件
など	・ 思春期 3 件
	・ ひきこもり 1 件
	・ 自殺関連 2 件
	・ 薬物関連 3 件
	・ 心の健康 4 件
	・ その他 36 件
	計 79 件

(5) 審査判定

①精神医療審査会事務

精神医療審査会は、精神障がい者の人権に配慮しつつ、その適正な医療及び保護を確保するために、精神科病院に入院している精神障がい者の処遇などについて、専門的かつ独立的な機関として審査を行っている。

委員体制

合議体 2合議体
委員数 14人（医療委員6人 法律家委員5人 有識者委員3人）

開催状況

合議体 開催回数 18回 出席委員数 延88人
総会 開催回数 1回 出席委員数 延9人

退院等請求審査

区分	審査件数	審査結果				意見聴取件数	取り下げ件数 (含消失)	請求件数
		現在の入院形態による入院又は処遇は適当	他の入院形態への移行が適当	病状等について報告を求めることが適当	入院又は処遇は不適当			
退院請求	29	29	0	0	0	27 注3	22	51
処遇改善請求	4	4			0	4	10	14
合計	33 (1.94) 注1	33	0	0	0	31	32 (49.2) 注2	65

注1) ()内は1回あたりの審査件数

注2) ()内は請求件数に占める取り下げ件数の割合

注3) 6ヶ月以内の複数回請求 … 審査後、意見聴取実施せず。(2件)

書類審査

区分	審査件数	審査結果				意見聴取件数
		現在の入院形態による入院は適当	他の入院形態への移行が適当	病状等について報告を求めることが適当	入院継続又は処遇内容は不適当	
医療保護入院届	1,263	1,263	0	0	0	0
定期病状報告書	措置入院	5	5	0	0	0
	医療保護入院	1,407	1,407	0	0	0
合計	2,675 (148.3) 注1	2,675	0	0	0	0

注1) ()は1回あたりの審査件数

退院等請求相談電話の受理状況

件数	内訳		
	入院者本人	保護者等	その他
178	178	0	0

審査実績年次推移

	20年度	21年度	22年度	23年度
審査会開催回数	17	18	18	18
退院等請求審査件数	22	33	28	33
入院届審査件数	1,349	1,273	1,238	1,263
定期病状報告書審査件数	1,349	1,380	1,369	1,412

②精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療費（精神通院医療）に関する判定事務

精神障害者保健福祉手帳の交付の可否及び等級判定，精神障害者の自立支援医療費に係る支給認定のうち，専門的な知識及び技術を必要とするものに関して，委員6名で構成される精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療費支給認定判定会において判定を行っている。

判定会開催回数

月2回（年間24回）

精神障害者保健福祉手帳判定件数

判定件数		990			
承認	内訳	新規	358		
		更新	617		
		等級変更	3		
	計	978			
承認	<区分>		<1級>	<2級>	<3級>
			113	817	48
不承認		12			

自立支援医療費判定件数

判定件数		6,118
承認	新規	1,428
	更新	4,680
	計	6,108
不承認		10

(6) 会議運営

①精神保健福祉庁内ネットワーク会議

会場 及び 日程	内 容	参加機関・出席者数
【会 場】 新潟市役所本館 対策室3 【日 程】 平成 23 年 7 月 19 日 (火) 午後 3 時 30 分～午後 5 時	・精神障がい者地域移行・地域定着支援事業について ・ひきこもり相談支援センターの開設について ・今後の連携の在り方について	福祉部障がい福祉課 区役所健康福祉課 区役所保護課 等 出席者数：20 人

②避難所支援情報交換会

会場 及び 日程	内 容	参加機関・出席者数
【会 場】 新潟市こころの健康センター 会議室 【日 程】 平成 23 年 7 月 27 日 (水) 午後 9 時 30 分～	・経過と連携・役割分担等の課題，求められる支援について	南相馬市 区役所健康福祉課 (北区・中央区・西区) 出席者数：8 人

③新潟市ひきこもり相談支援センター事業報告会

会場 及び 日程	内 容	参加機関・出席者数
【会 場】 新潟市役所本館 対策室2 【日 程】 平成 24 年 3 月 21 日 (水) 午後 2 時～午後 4 時	・設立の経緯及び事業報告 ・新潟市におけるひきこもり支援の現状について	新潟市議会議員 新潟市医師会 家族会，NPO 団体 教育機関 精神科病院 新潟県，庁内関係機関 出席者数：34 人

4 - 2

精神保健福祉室

事業実績

(1) 精神保健福祉審議会

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第9条及び新潟市精神保健福祉審議会条例に基づき、精神保健及び精神障がい者の福祉に関する事項を調査審議するため、年1回、精神保健福祉審議会を開催している。

【会場：白山会館 羽衣の間】

日 程	議 事	出席者
平成24年 2月13日(月) 午後3時 ～午後5時	「精神保健福祉施策について」 「新潟市障がい者計画・障がい福祉計画について」 「新潟市自殺総合対策について」	委 員 : 14名 事務局 : 8名

(2) 精神保健指定医会議／精神科病院事務長・看護部長会議

精神保健福祉行政の推進のため、新潟県精神医療機関協議会との共催により、精神保健指定医会議及び精神科病院事務長・看護部長会議を新潟県と共同で開催した。

【会場：新潟県自治会館 201会議室】

日 程	議 事	出席者
平成24年 1月17日(火) 午後2時30分 ～午後4時45分	【第1部】 精神保健指定医会議／精神科病院事務長・看護部長会議 「措置入院制度について」 「精神科救急医療について」 「精神医療審査会について」 「精神科病院実地指導等について」 ①精神科病院実地指導・入院患者病状実地審査について ②公衆衛生関係行政事務指導監査について(新潟市実施分) 「その他」 ①自殺対策について ②退院促進支援事業について ③精神障害者保健福祉手帳と自立支援医療について 【第2部】 精神保健指定医会議(意見交換)	精神保健指定医 : 41名 精神科病院事務長 : 19名 精神科病院看護部長 : 17名

(3) 精神科救急医療対策

①精神科救急医療システム

休日昼間と夜間において、精神疾患の急激な発症や精神症状の悪化等により、緊急に医療を必要とする者に対して精神科救急医療体制を確保するため、新潟県と共同で精神科救急医療システムを運営している。

【休日昼間】

年 度	ブ ロ ッ ク		県 北	新 潟・佐 渡	県 央	魚 沼	上 越	合 計
	状 況							
平成19年度	稼働日数		44	132	60	68	73	377
	当番日数		121	171	121	121	121	655
	稼働率		36.4%	77.2%	49.6%	56.2%	60.3%	57.6%
	対応件数	電話のみ	17	214	28	38	111	408
		来院	44	143	78	66	70	401
計		61	357	106	104	181	809	
入院		18	45	29	14	15	121	
平成20年度	稼働日数		48	136	67	63	63	377
	当番日数		122	172	122	122	122	660
	稼働率		39.3%	79.1%	54.9%	51.6%	51.6%	57.1%
	対応件数	電話のみ	16	179	22	37	76	330
		来院	47	153	87	68	61	416
計		63	332	109	105	137	746	
入院		8	54	32	11	20	125	
平成21年度	稼働日数		55	131	70	58	59	373
	当番日数		123	173	123	123	123	665
	稼働率		44.7%	75.7%	56.9%	47.2%	48.0%	56.1%
	対応件数	電話のみ	25	114	33	26	113	311
		来院	52	169	106	68	53	448
計		77	283	139	94	166	759	
入院		13	42	30	17	20	122	
平成22年度	稼働日数		50	107	66	60	63	346
	当番日数		122	172	122	122	122	660
	稼働率		41.0%	62.2%	54.1%	49.2%	51.6%	52.4%
	対応件数	電話のみ	25	114	20	32	122	313
		来院	60	139	86	67	57	409
計		85	253	106	99	179	722	
入院		16	39	34	24	18	131	
平成23年度	稼働日数		52	103	62	45	76	338
	当番日数		122	172	122	122	122	660
	稼働率		42.6%	59.9%	50.8%	36.9%	62.3%	51.2%
	対応件数	電話のみ	12	93	24	29	116	274
		来院	54	113	64	43	58	332
計		66	206	88	72	174	606	
入院		12	30	17	16	20	95	

【夜間】

年 度	ブロック		県 北	新潟・佐渡	県 央	魚 沼	上 越	合 計
	状 況							
平成19年度	稼働日数		—	29	186	19	7	241
	当番日数		—	53	263	35	17	368
	稼働率		—	54.7%	70.7%	54.3%	41.2%	65.5%
	対応件数	電話のみ	—	16	103	2	1	122
		来院	—	32	261	22	10	325
		計	—	48	364	24	11	447
入院		—	9	73	3	2	87	
平成20年度	稼働日数		—	25	157	30	—	212
	当番日数		—	52	261	52	—	365
	稼働率		—	48.1%	60.2%	57.7%	—	58.1%
	対応件数	電話のみ	—	7	77	10	—	94
		来院	—	36	229	38	—	303
		計	—	43	306	48	—	397
入院		—	7	69	9	—	85	
平成21年度	稼働日数		—	35	174	25	—	234
	当番日数		—	52	261	52	—	365
	稼働率		—	67.3%	66.7%	48.1%	—	64.1%
	対応件数	電話のみ	—	24	109	5	—	138
		来院	—	55	232	34	—	321
		計	—	79	341	39	—	459
入院		—	17	57	8	—	82	
平成22年度	稼働日数		68	71	144	12	29	324
	当番日数		92	104	271	32	58	557
	稼働率		73.9%	68.3%	53.1%	37.5%	50.0%	58.2%
	対応件数	電話のみ	130	79	58	2	59	328
		来院	81	74	199	12	13	379
		計	211	153	257	14	72	707
入院		14	23	55	3	6	101	
平成23年度	稼働日数		77	71	137	17	26	328
	当番日数		96	113	275	33	58	575
	稼働率		80.2%	62.8%	49.8%	51.5%	44.8%	57.0%
	対応件数	電話のみ	145	61	68	7	39	320
		来院	78	73	159	18	8	336
		計	223	134	227	25	47	656
入院		13	27	35	8	3	86	

②精神科救急医療システム連絡調整委員会

精神科救急医療システム連絡調整委員会は、精神科救急医療体制の円滑な運営を図るため、新潟県及び新潟市が共同で設置している。

【会場：新潟市役所本館 3階 対策室 1】

日 程	議 事 ・ 報 告	出席者
平成 24 年 2 月 7 日 (火) 午後 5 時 ～午後 7 時	【議 事】 「精神科救急医療対策事業の稼働状況について」 「当該事業に関する国の動向について」 「意見交換」 【報 告】 「傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準の策定について」 「当該事業に係る要綱改正及び委託契約について」	委 員 : 16 名 事務局 : 10 名

(4) 措置入院・措置診察業務

①入院措置業務

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第 23 条から第 26 条までの規定による申請、通報又は届出のあった者について調査の上必要があると認めるときは、同法第 27 条に基づき、精神保健指定医による措置診察を実施している。

(件)

年 度	申請・通報等種別	申請・通報等件数	措置診察件数	要措置件数	措置不要件数
平成 19 年度	23 条申請	0	0	0	0
	24 条通報	27	21	12	9
	25 条通報	7	3	3	0
	26 条通報	4	0	0	0
	合 計	38	24	15	9
平成 20 年度	23 条申請	0	0	0	0
	24 条通報	26	22	20	2
	25 条通報	5	1	1	0
	26 条通報	19	1	0	1
	合 計	50	24	21	3
平成 21 年度	23 条申請	0	0	0	0
	24 条通報	32	23	20	3
	25 条通報	13	3	2	1
	26 条通報	21	1	1	0
	合 計	66	27	23	4
平成 22 年度	23 条申請	1	0	0	0
	24 条通報	36	20	12	8
	25 条通報	30	5	4	1
	26 条通報	30	0	0	0
	合 計	96	25	16	9
平成 23 年度	23 条申請	0	0	0	0
	24 条通報	50	26	19	7
	25 条通報	22	6	2	4
	26 条通報	30	1	0	1
	合 計	102	33	21	12

②措置入院制度連絡調整会議

措置入院制度の充実と円滑な運用を図るため、新潟県と共同で措置入院制度連絡調整会議を開催している。

【会場：新潟市役所本館3階 対策室1】

日 程	議 事	出席者
平成 24 年 2 月 7 日 (火) 午後 7 時 ～午後 8 時	「措置入院受入及び措置診察の実績報告について」 「運用上の問題点や改善策について」	委 員：13 名 事務局：9 名

(5) 精神障がい者地域移行・地域定着支援

精神障がい者地域移行・地域定着支援事業は、精神科病院において、社会的入院となっている長期入院者に対し、入院中から個別支援を行い、退院後も地域において自立した生活を安定して継続できるよう支援することを目的に実施している。

精神科病院に1年以上入院している者のうち、病状が安定しており、受入条件が整えば退院可能な精神障がい者で、原則、入院前の住所を新潟市内に有する者に対し、生活技術の向上や地域生活に対する不安軽減のため、コーディネーターの作成する個別支援計画に基づき必要な支援を行った。

年 度	新潟市			五泉市, 阿賀野市, 阿賀町		
	事業利用者数		退院者数	事業利用者数		退院者数
		うち新規			うち新規	
平成 19 年度	2	2	0	0	0	—
平成 20 年度	3	1	2	0	0	—
平成 21 年度	2	1	1	0	0	—
平成 22 年度	3	2	2	2	2	1
平成 23 年度	5	3	1	—	—	—

(6) 精神障がい者社会適応訓練

通常の事業所に雇用されることが困難な精神障がい者を、精神障がい者の社会経済活動への参加の促進に熱意のある事業所に委託して、職業を与えると同時に、社会生活への促進に必要な訓練を行い、精神障がい者の社会復帰の促進及び社会経済活動への参加の促進を図ることを目的に実施している。

年 度	前期利用者数		後期利用者数	
		うち新規		うち新規
平成 19 年度	2	0	1	0
平成 20 年度	4	4	4	0
平成 21 年度	3	1	2	0
平成 22 年度	3	2	4	2
平成 23 年度	5	2	5	0

4－3

いのちの支援室

事業実績

(1) 計画策定

①新潟市自殺総合対策庁内推進計画

庁内全課に向けて自殺対策に関連する取り組み及び課題について調査を行い、「新潟市自殺対策庁内推進会議」の中で、今後の具体的な取り組み等を協議し、全庁的な自殺対策の取り組みを推進するため「新潟市自殺対策庁内推進計画」を平成23年5月に策定した。

②新潟市自殺総合対策行動計画

庁内推進計画を踏まえ、市民や地域、学校、関係機関・団体と行政が一丸となって総合的な自殺対策に取り組み、一人でも多くの尊い命を守ることを目的に、「新潟市自殺総合対策行動計画」を平成24年3月に策定した。

(2) 実態把握

新潟市自殺未遂者実態把握調査（平成22年～平成24年度の3年事業）

本市における自殺のハイリスク者である自殺未遂者の実態を把握し、ニーズや支援の介入ポイントを明らかにすることにより、実情に即した効果的な自殺対策を推進することを目的に本調査を実施した。

調査対象期間	平成19年1月1日～平成23年12月31日
調査方法	(1) 調査協力医療機関の自殺未遂または自傷行為による受診者に関する医療機関調査情報を分析する。 (2) 調査協力医療機関の自殺未遂または自傷行為による受診者に関する医療機関調査情報と人口動態調査死亡小票とを突合し、分析する。
調査協力医療機関	・新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター ・新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター
調査内容	(1) 実態把握の断面調査 ・自殺未遂者・既遂者の特徴（性、年齢、職業、同居家族の有無、自殺未遂時の手段、時間、場所、薬物乱用の有無、精神科受診歴の有無、自殺自傷歴の有無など）や、未遂者と既遂者の特徴の違いを把握する。 ・救急医療の場において、自殺未遂者に対する精神科医の関与や情報提供がどの程度行われているか実態を把握する。 (2) 未遂者予後調査 ・自殺未遂者がその後どの程度の頻度で自殺を完遂し、あるいは、未遂再受診するのか、予後の実態を明らかにする。 ・自殺完遂や未遂再受診に至りやすい自殺未遂者の特徴を把握する。 ・自殺未遂者に対する精神科医の関与が自殺完遂や未遂再受診のリスク低下と関連しているか明らかにする。

(3) 人材育成

①自殺総合対策庁内研修会（課長職以上）

市の幹部職員が国及び新潟市の自殺の現状を理解するとともに、自殺対策について全庁を挙げて取り組むべき緊急の課題であることを認識し、関係課などにおいて自殺対策を推進することを目的に研修会を開催した。

【会場：(午前の部) 新潟市役所本館 5 階 全員協議会室
(午後の部) 新潟市役所本館 3 階 対策室 1～3】

日 程	内 容	対象・参加者
平成 23 年 11 月 21 日 (月) (午前の部) 午前 9 時 15 分 ～午前 10 時 (午後の部) 午後 1 時 30 分 ～午後 3 時	「自殺について今わかっていること ～新潟市に期待される社会的な取り組み～」 講師：(独) 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 自殺予防総合対策センター 適応障害研究室 室長 稲垣 正俊 氏	【対象】市役所職員のうち課長職以上 【参加者】188 人

②自殺総合対策庁内研修会（実務担当職員 基礎編）

多くの新潟市及び関係機関の実務担当職員が“自殺の危険性が高い人”と接する可能性があることを前提に、参加者全員が自殺予防のゲードキーパーとして、4つのキーワードである『気づき』『傾聴』『つなぎ』『見守り』について理解し、実践につなげることを目的に研修会を開催した。

【会場：新潟市役所本館対策室 1～3】

日 程	内 容	対象・参加者
平成 23 年 12 月 2 日 (金) 午後 1 時 ～午後 4 時	第 1 部 「本市における自殺対策の取り組み」 新潟市こころの健康センター いのちの支援室 副主査 中川 拓也 第 2 部 「それぞれの職場で自殺予防のためにできること ～気づき・声かけ・つなぎ・見守りの大切さ～」 講師：岩手医科大学神経精神科学講座 講師 大塚 耕太郎 氏	【対象】市民と接する機会が多い職員 ・医療機関職員（医療相談員等） ・福祉サービス事業所職員（指定相談支援事業所，就労支援事業所，地域活動支援センター，地域包括支援センター等） ・学校教職員 ・行政職員 【参加者】65 人

③自殺対策研修会（医療関係者向け）～かかりつけ医等の対応能力向上研修会～

うつ病患者の多くは、はじめに身体症状等を訴えて内科等のかかりつけ医を受診することが多いことから、医師・歯科医師・薬剤師及び看護師などの医療関係者を対象に、自殺の危険性を抱えている市民の早期発見・早期対応をテーマとした研修会を開催した。

【会場：新潟ユニゾンプラザ 大研修室】

日 程	内 容	対象・参加者
平成 24 年 1 月 28 日 (土) 午後 3 時 ～午後 5 時	「死のラインアングル －アルコールとうつと自殺との関係性－」 講師：かすみがうらクリニック副院長， 断酒の家診療所医師 猪野 亜朗 氏	【対象】医療関係者，行政機関職員 【参加者】119 人

④新潟市自殺予防ゲートキーパー養成研修会

「自殺予防ゲートキーパー養成研修会 相談従事者向け（基礎編）」を踏まえ、さらに高度な知識と技術を以って対応できるゲートキーパーを養成することを目的に研修会を開催した。

【会場：チサンホテル&コンファレンスセンター新潟 4階 越後の間 西】

日 程	内 容	対象・参加者
平成 24 年 2 月 18 日 (土) (午前の部) 午前 9 時～正午 (午後の部) 午後 1 時 ～午後 4 時	「自殺の危険性が高い人への対応 相談従事者向け（応用編）」 講師：岩手医科大学神経精神科学講座 講師 大塚 耕太郎 氏	【対象】ケアマネジャー，地域包括支援センター職員，民生委員，市内企業の健康管理者，精神保健福祉関係機関職員，新潟県精神保健福祉協会新潟市支部会員，小・中・高等学校教員，市役所・区役所窓口担当者，地域保健福祉センター職員，基礎編受講者で応用編研修受講を希望した者 など 【参加者】134 人 (午前の部，午後の部総計)

⑤いのちを守る超連続勉強会

自殺防止対策の推進に向けて、各関係機関・団体の活動内容、専門性等を理解し、密接な連携の中で、顔の見えるネットワークづくりを進めていくことを目的に、各団体と協働して研修会を開催した。

日 程	内 容	対象・参加者
【第 1 回】 平成 23 年 11 月 17 日 (木) 午後 2 時 ～午後 6 時 会場： 万代シルバー ホテル 4 階 千歳の間	・講演 寺ネット・サンガ代表 僧侶 中下 大樹 氏 ・連続勉強会（9 機関の取り組み報告） 新潟市，新潟市薬剤師会，NPO 法人新潟 NPO 協会，新潟県弁護士会，新潟商工会議所，新潟市消防局，地域包括支援センター，新潟市社会福祉協議会，中小企業家同友会 ・まとめ 新潟大学医学部 保健学科 地域・精神看護学教授 後藤 雅博 氏	【対象】新潟市薬剤師会，NPO 法人新潟 NPO 協会，新潟商工会議所，地域包括支援センター，新潟市社会福祉協議会，中小企業家同友会，新潟県弁護士会，新潟市に所属する相談担当者など 【参加者】100 人
【第 2 回】 平成 24 年 2 月 23 日 (木) 午後 2 時 ～午後 5 時 会場： 新潟市総合保健 医療センター 2 階 講堂	・講演 新潟市医師会講演 白根緑ヶ丘病院 医師 佐野 英孝 氏 新潟市歯科医師会講演 神成歯科医院 歯科医師 神成 康一 氏 ・連続勉強会（5 機関の取り組み報告） 日本精神科看護技術協会新潟県支部，NPO 法人新潟 NPO 協会，精神保健福祉士，新潟県弁護士会，新潟市薬剤師会 ・まとめ 新潟大学医学部 保健学科 地域・精神看護学教授 後藤 雅博 氏	【対象】各相談機関に所属する担当者，活動されている方など 【参加者】57 人

<p>【第3回】 平成24年 3月16日(金) 午後5時30分 ～午後6時30分</p> <p>会場： イタリア軒 5階 朝日の間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度いのちを守る超連続勉強会の概要報告について（新潟県弁護士会） ・ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ・できあがった「ネットワーク」、動かさなければ意味がない。動かすアイデアどんな方法が考えられる？ ・来年度の勉強会，自分だったらこんな開催方法にしたい！ 	<p>【対象】 各相談機関に所属する担当者，活動されている方など</p> <p>【参加者】 31人</p>
---	--	---

(4) 相談支援

こころといのちのホットライン事業

健康，生活問題等に悩みを抱える市民にきめ細かに対応するため，平成23年3月から，平日夜間や休日昼間の電話相談窓口を開設し，相談支援体制の充実を図った。

事業内容	<p>平日の日中に相談できない市民のために，平日夜間及び休日の時間帯に相談窓口を設け，自殺の危険性の高い方に対する相談支援の充実を目的に，こころといのちのホットライン事業を委託事業で実施する。</p> <p>委託事業者：新潟市社会福祉協議会</p>	
事業対象者	原則として新潟市内に在住する者	
事業実施時間	<p>(1) 平日：午後5時から午後10時まで</p> <p>(2) 土日，祝日：午前10時から午後4時まで</p> <p>(3) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日及び1月2日，1月3日並びに12月29日から31日まで：午前10時から午後4時まで</p>	
相談実績	<p>【平成22年度】 152件※</p> <p>【平成23年度】 1,638件／年</p>	<p>※平成23年3月1日より本事業実施のため，平成22年度実績については，3月のみの実績となる。</p>

(5) 事業推進体制

①新潟市自殺対策協議会

本市の自殺対策に関する総合的な推進を図るため、自殺防止対策に関わる関係機関及び団体等で構成する新潟市自殺対策協議会を開催し、平成23年度は主に新潟市自殺総合対策行動計画の策定に向けた検討を行った。

日 程	内 容	出席委員等
平成23年 8月4日(木) 午後3時 ～午後5時 【会場】 白山会館 1階 芙蓉の間	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟市における自殺の実態について ・新潟市自殺総合対策庁内推進計画について ・(仮称)新潟市自殺総合対策行動計画について ・平成23年度新潟市自殺総合対策事業概要について ・全国自殺対策主管課長等会議報告 ・関係機関・団体の取り組み状況等について ・その他 	出席委員：20人 関係課オブザーバー：24人 (庁内推進会議委員)
平成24年 1月5日(木) 午後3時 ～午後4時 【会場】 市役所本館 3階 対策室	<ul style="list-style-type: none"> ・全国自殺対策主管課長等会議報告 ・新潟市自殺総合対策行動計画(案)について ・その他 	出席委員：20人 関係課オブザーバー：29人 (庁内推進会議委員)
平成24年 2月15日(水) 午後3時 ～午後5時 【会場】 白山会館 1階 芙蓉の間	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟市自殺総合対策行動計画最終案について ・本行動計画の普及啓発について ・平成24年度自殺総合対策について ・その他 	出席委員：20人 関係課オブザーバー：29人 (庁内推進会議委員)

②新潟市自殺総合対策庁内推進会議

自殺総合対策庁内推進会議では、自殺防止に関わる本市の庁内関係課から構成され、庁内の連携を強化し、自殺対策を総合的に推進するための対策について検討した。

日 程	内 容	出席委員
平成24年 1月26日(木) 午後2時 ～午後3時30分 【会場】 市役所第2分館 1階 2-101 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・「庁内推進体制強化事業」にかかる調査の結果について ・庁内における自殺対策の課題と今後の具体的な取り組みについて ・その他 	出席委員：36人

③自殺対策実務者ネットワーク会議

自殺対策の推進に向けて、関係機関・団体における実務者レベルの密接な連携を強化し、本市の自殺対策の課題を共有しながら、問題解決に向けた具体的な対策を検討する場として、本会議を開催した。

【会場：新潟市こころの健康センター 会議室】

日 程	内 容	参加者団体及び参加者数
平成 23 年 7 月 14 日 (木) 8 月 23 日 (火) 9 月 15 日 (木) 10 月 6 日 (木) 11 月 7 日 (月) 12 月 8 日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度連携・協働で行う事業の検討 ・各関係機関・団体における取り組み紹介 ・新潟市自殺総合対策行動計画について ・平成 23 年度いのちを守る超連続勉強会に係る研修会の企画運営、実施後の振り返りについて ・平成 24 年度いのちを守る超連続勉強会の方向性について など 	【参加団体】 <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県弁護士会 ・社団法人 新潟市薬剤師会 ・NPO法人新潟NPO協会 ・新潟市 参加者数：延べ 68 人
平成 24 年 1 月 12 日 (木) 2 月 9 日 (木) 3 月 5 日 (木)		
いずれも 午後 6 時 30 分 ～午後 8 時 30 分 全 9 回実施		

(6) 普及啓発

①新潟市自殺防止街頭キャンペーン

新潟市自殺対策推進月間において、自殺予防に関する相談窓口資料などが入った啓発用グッズを直接市民等に手渡して呼びかけ、自殺対策への関心を高めることを目的に街頭キャンペーンを実施した。

【実施場所：新潟駅前広場】

日 程	内 容	対 象・参 加 者
平成 23 年 9 月 16 日 (金) 午前 8 時～	<ul style="list-style-type: none"> ・市民への呼びかけ ・相談窓口の周知 ・啓発用グッズ (ペン類・「新潟市自殺対策フォーラム」開催案内チラシ・自殺を防ぐための相談窓口情報マップ「あなたのミカタ」・新潟市こころといのちのホットラインチラシをセットにしたもの) の配布 ・幟旗の設置 	【対象】 一般市民 【配布数】 700 セット

②新潟市自殺対策フォーラム

新潟市自殺対策推進月間における取り組みの一環として、うつ病だけにとどまらず、アルコール問題についてもテーマとして取り上げ、自殺についての理解を深め、周囲の“気づき”により早期発見・早期治療を促し、自殺予防につなげることを目的にフォーラムを実施した。

【会場：新潟ユニゾンプラザ 大ホール】

日 程	内 容	対 象・参 加 者
平成 23 年 9 月 24 日 (土) 午前 1 時 ～午後 4 時	第 1 部 精神科医による飲酒と自殺のレクチャー 『ーアルコールは心を癒すか、 ^{いば} 蝕 ^む むかー アルコールと自殺について考える』 講師：医療法人 恵生会 河渡病院長 和泉 貞次 氏 第 2 部 講 演 『「家族力」がうつから救う』 講師：NPO法人 MDA-JAPAN (うつ・気分 障害協会) 理事長 山口 律子 氏	【対象】 一般市民，医療機関，行政 機関，教育機関，福祉機関， 研究機関，精神保健福祉活 動や自殺予防活動に取り組 んでいる民間団体，企業・ 産業保健関係者等 【参加者】 381 人

③懸垂幕の掲出及び幟旗の設置

新潟市自殺対策推進月間において、市民一人ひとりの自殺予防に対する関心を高めてもらうため、新潟市自殺予防対策の標語を周知する懸垂幕の掲出及び幟旗の設置を行った。

日 程	実施場所
平成 23 年 9 月 (1 ヶ月実施)	【懸垂幕掲出場所】 新潟市役所本庁舎，北区役所庁舎，東区役所庁舎，江南区役所庁舎 【幟旗の設置場所】 秋葉区役所，南区役所，西区役所，西蒲区役所

